

令和4年度

高森町一般会計補正予算（第2号）
概要書

たかもりマンガ魅力発信応援事業

●高森高校オープンスクールにあわせて、エンタメ業界と連携した事業を実施します。

【事業の目的】

令和5年4月開講予定の『高森高校マンガ学科』を起爆剤に、町の交流人口や更なる活性化を推進するため、**県内外の学生を対象に高森高校オープンスクールにあわせて以下の事業を実施**することで、県内のみならず日本全国に地域情報を発信する。

① マンガ関連講座の実施（有名漫画家や編集者によるマンガ関連教室開催）

② アーティストビレッジ阿蘇096区見学

（プロの漫画家及び編集の現場や漫画制作機材に触れる機会の創出）

③ 町内観光資源体験

④ 高森滞在費支援

（県内外からより多く呼び込む為、交通費（バス送迎）や宿泊費等支援）

【財源】

熊本県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用予定
（補助率：3/4）

※補助裏には、ふるさと応援寄付金を活用予定



事業費	県補助額	ふるさと応援寄付金	一般財源
737万円	552万円	185万円	0円

予算書P14

※ふるさと応援寄付金のうち「エンタメ業界と連携したまちづくり事業」に活用することを希望されている分を充当

給水車購入事業

地方創生臨時交付金 活用予定

- 新型コロナウイルス感染症対策として、給水車を追加で購入します。

【事業の目的】

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度に導入した給水車について、断水時の給水作業の効率化や火災現場への給水など防災の観点からも有用性が確認されたため、更に迅速な給水活動を展開するため、給水車の追加導入を行う。

【事業内容】

ステンレスタンク給水車を1台増台

⇒新型コロナ時代における渇水等の不測の事態に、
安心安全な飲料水を迅速に配水できるよう備えるとともに
給水が必要な事業等に対し、幅広い活用の展開を図る。



事業費	国庫補助額	一般財源
2,340万円	2,340万円	0円

予算書P15

外出応援 臨時敬老祝い金事業

地方創生臨時交付金 活用予定

●敬老祝い金を一律8,000円加算します。**【令和4年度限り】**

【事業の目的】

アフターコロナを見据えた経済の活性化、外出機会の創出を目的に、令和4年度に限り、コロナ加算として敬老祝い金を一律8,000円加算して給付する。
(町長政策集：挑戦6/目標5「高齢者が「住み慣れた地域で健康に生活できる施策」を推進」)

【支給額】

70歳以上 2,000円⇒10,000円、88歳 10,000円⇒18,000円、100歳 50,000円⇒58,000円

【支給方法】

各地区の敬老会開催時（9月）に現金給付。
⇒新型コロナウイルス感染症等の影響により敬老会が開催されない場合は口座振込み。



事業費	国庫補助額	一般財源
1,679万円	1,679万円	0円

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業

●低所得の子育て世帯を支援するため、対象児童1人あたり一律5万円を支給します。

- 【支給対象者】 (1) 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で令和4年度分の住民税均等割が非課税である方
 (2) (1)のほか、対象児童の養育者であって以下のいずれかに該当する方
- ・令和4年度分の住民税均等割が非課税である方
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度の住民税均等割が非課税である方と同様の事情であると認められる方

【対象児童及び給付額】 令和4年3月31日時点で18歳未満の子（障害児については20歳未満）
対象児童1人あたり一律5万円

- 【給付方法】 ①市町村から支給対象者へ給付金の案内チラシ及び希望しない場合等の申出書を送付
 ②児童手当登録銀行口座等への振込
 ※高校生のみ養育者及び家計急変者は支給対象者の居住市町村に申請が必要。

【給付開始日】 市町村において決定

※緊急経済対策の趣旨を踏まえ、高森町では6月下旬の給付開始を目指す。



事業費	国庫補助額	一般財源
626万円	626万円	0円

予算書P18、19

非接触型草原維持事業

地方創生臨時交付金 活用予定

- コロナ禍における非接触運用が可能な機械を導入します。

【現状と課題】

阿蘇の春の風物詩である野焼きにおいて、現在は各牧野組合の主導で実施されているが、近年、過疎化や高齢化による畜産農家及び組合員の減少が顕著であり、併せて新型コロナウイルス感染症の影響で人の密集を避けるため、草刈り活動にも支障を来している。

さらに、失火による火入責任の所在や補償等の負担増により野焼きを中止する組合が増えてきている。

【対応策】

少人数でも効率的に活動できるよう、また、野焼きによる失火が増加している現状を踏まえ、**最大斜度45度まで切ることができるキャタピラ式リモコン付ハンマーナイフモア**を1台購入する。

⇒各牧野組合等に貸し出し、ススキ等の古株等を粉碎し可能な限り草丈を短くし、野焼きの際の火柱の抑制を図ることで、安全かつ円滑に野焼きが実施できるよう支援する。



事業費

500万円

国庫補助額

500万円

一般財源

0円

予算書P21

町立学校給食費助成事業(物価高騰分)

地方創生臨時交付金 活用予定

- 町内小中学校の令和4年7月以降の給食費を無償化します。**【令和4年度限り】**

【事業の目的】

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けて物価高騰が続いている中、今後も見通しが不透明なウクライナ情勢により原油価格や円安も重なっている現状を踏まえ、緊急的な臨時政策として保護者の負担を軽減するため、

町内小中学校の児童・生徒に係る令和4年7月以降の給食費を無償化する。

(教師等学校関係者を除く)

【財源】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」のうち原油価格・物価高騰対策分を活用予定。



事業費	国庫補助額	一般財源
1,900万円	1,900万円	0円

予算書P25

子ども医療費現物給付事業

●令和4年10月から県内の医療機関(整骨院を除く)窓口での現金払が不要になります。

【事業の目的】

子育て世代の医療機関窓口での現金払いによる負担軽減や人の密集する待合室での時間短縮を目的として、**受給者証の提出により県内医療機関窓口での支払いが不要**となる。

【対象者】

高森町の住民基本台帳に記載されている方で
生まれた日から満18歳に達する日以後最初の3月31日までの方

【スケジュール】

R4. 7月 システム改修
9月 対象者へ受給者証の送付
10月 制度開始

※「受給者証を忘れた場合」「R4. 9月までの医療費」
は従来どおり役場窓口で申請書での手続きが必要。(6ヶ月以内)



事業費	補助額	一般財源
122万円	0円	122万円

ふるさと応援多目的車両導入事業

- 防災及び住民福祉の向上等のため、多目的に利用可能な車両を導入します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・住民福祉」に合致する事業であり、多様化するニーズに対応するため、平成6年度の導入後、28年が経過している役場所有の福祉車に替わり、物資輸送や車いす利用者も乗降出来る機能を有した多目的車両を導入する。

【使途】

- ・有事の際の避難所運営や被災者支援
 - ・イベント時の物資輸送（全自動リフター付き）
 - ・社会福祉の向上（車いす数台＋5名乗車可能）
- 等、多目的なニーズに貢献する公用車として活用する。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
560万円	560万円	0円

ふるさと応援イベント等フリースペース整備事業

- R2に「老朽空き家解体事業」により空き地となり、所有者からの寄附等により町有地となった箇所をフリースペースとして活用できるよう整備します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・観光対策」に合致する事業であり、R2に熊本県解体工事業協会による「老朽空き家解体事業」により家屋3棟を解体した横町地区の土地は、所有者の好意で町有地になったものの、土壌むきだしのままの状態となっており、大雨の際には隣接土地への土砂流入も懸念されるため整備する。

【事業内容】

公共的施設整備事業等で多く使用されている『鉄鋼スラグ』は、アスファルトの約1/7の価格で水はけもよく、将来的に用途変更する際にも加工しやすい。

この鉄鋼スラグを用いて整備することで、町民へのフリースペースとして、キッチンカーや青空市など、汎用性を持たせることを目的とする。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
129万円	129万円	0円

ふるさと応援グリーンツーリズム観光資源創出事業

●グリーンツーリズムの促進につながる事業にかかる経費を助成します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、「グリーンツーリズムの促進」を図るため、花や樹木、自然景観を活用した観光資源創出に係る経費を助成する。

※グリーンツーリズム：緑豊かな農山村で、自然や文化、人々との交流を楽しみ余暇を過ごすこと。

【事業の要件】

- ・年間500人以上の観光入込客数が見込めること。
- ・補助事業終了後も継続して誘客を行える観光資源であること。

【対象者】

- ・高森町に活動拠点を有している町内の団体であること。
- ・団体としての活動実績が1年以上あること。
- ・町民の5人以上が構成員となっていること。
- ・営利、政治又は宗教に関する活動を目的としないこと。

【補助額】

10/10を助成（上限額250万円）

※対象経費の例：公園や街路等に桜や紅葉（花）などの植樹を行う経費など



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,000万円	1,000万円	0円

ふるさと応援高齢者活動支援事業

- 各地域の公民館等へ高さ調節可能な折り畳み座卓テーブルを導入します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「住民福祉」に合致する事業であり、高齢者の福祉推進のため、各地域の公民館等へ配布した「高齢者用椅子」に対応した高さ調節可能（5段階）な折り畳み座卓テーブルを無償で配布する。

（町長政策集：挑戦6/目標5「高齢者が「住み慣れた地域で健康に生活できる施策」を推進」）

【導入計画】

- ・高森地区 9施設 68台
- ・色見地区 12施設 84台
- ・草部地区 20施設 94台
- ・野尻地区 17施設 84台



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
969万円	969万円	0円

ふるさと応援福祉向上事業

- 役場庁舎等に設置している車いすを更新します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「住民福祉」に合致する事業であり、高齢者の福祉向上のため、役場庁舎及び高森総合センター、また、今年度大規模なリニューアルを予定している高森湧水トンネル公園内の車いすを更新し、来庁者等の安心安全の確保及び利便性の向上を図る。

【規格】

自走式軽量アルミ製車いす（ノーパンクタイヤ）

【導入計画】

- ・ 役場庁舎 3台
- ・ 高森総合センター 3台
- ・ 高森湧水トンネル 6台



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
30万円	30万円	0円

ふるさと応援通いの場活性化事業

●集落支援員の活動拠点を整備します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「住民福祉」に合致する事業であり、現在、各地域に配置している10名の集落支援員について、**役場から最も近い公民館である昭和公民館（別館）に活動拠点を移し、通いの場の活性化を図る。**

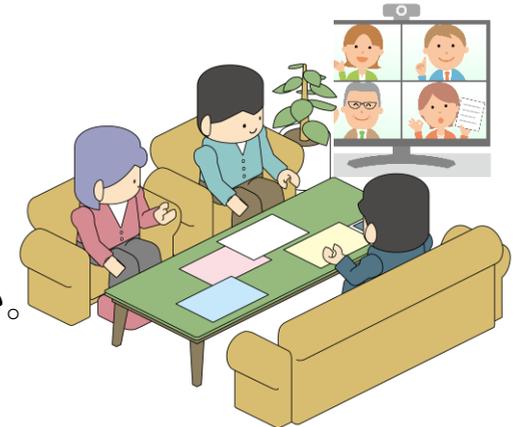
⇒活動拠点の環境等を整備し、情報収集や研修を充実させることで、集落支援員の資質向上を図り、様々な政策提案に繋げる。

【整備内容】

リモート会議用テレビモニター、会議用椅子、テーブル等

※有事の際は避難所としても活用できるように、現状の公民館施設の使途目的を阻害しない備品を選択する。

※ふるさと納税を活用することで、集落支援員の活動費を圧迫しない。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
150万円	150万円	0円

ふるさと応援新規就農者受入体制強化事業補助金

- 新規就農希望者のための短期農業研修に対して、宿泊費を支援します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「産業振興」に合致する事業であり、農業従事者の高齢化等による農業離れや担い手不足が急速に進展する中、高森町の持続可能な農業を実現させるために大きな課題となっている後継者や承継者の育成及び確保を図る。

【事業内容】

昨年から実施している「農業師匠」の下での短期研修（2泊3日）を開催し、参加者に対し、町が宿泊費及び交通費の1/2を助成する。

※助成金については、宿泊費及び交通費合わせて、1人当たり上限10,000円までとする。



事業費	ふるさと応援寄付金	利用者負担	町負担
20万円	10万円	10万円	0円

ふるさと応援観光客等安全対策臨時補助金事業

- 急激な観光客等の増加により、緊急的に安全対策が必要な整備に係る経費を助成します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・観光対策」に合致する事業であり、地域経済を支える観光の本格的な復興の実現に向けて、町内の地域住民が自ら連携して、観光客等の安全を確保することで交流人口及び観光入込客の増加を図る。

【事業内容】

観光客等の安全を確保するための整備や計画、設計に要する経費、その他整備に要する経費に対して10/10を助成する。

※アフターコロナ時に急激な観光等の増加が見込める地域（場所）を複数箇所選定する。

【事業対象者】

- ・高森町に活動拠点を有していること
- ・団体としての活動実績が1年以上あるもの
- ・町民の5人以上が構成員となっていること
- ・営利、政治又は宗教に関する活動を目的としないこと



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,500万円	1,500万円	0円

ふるさと応援ジュニア防災検定

●子どもたちの「防災力」を養い、将来を担う地域の防災人材の育成に取り組みます。

【目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災対策」に合致する事業であり、子どもたちが日頃から防災と減災に深い関心を持ち、意識を高め、自ら考え判断し行動できる「防災力」を身に付ける。（町長政策集：挑戦5/目標3「命と人権を大切にす教育の充実」）

【内容】

「筆記試験（初級・中級・上級）」「家族防災会議レポート」「防災自由研究」で構成。
⇒合格基準に満たなかった場合でも「再チャレンジ制度（無料）」の機会が提供される。

【事業費】

- ・初級（小4～小5程度）：2,100円×41名＝86,100円
- ・中級（小6～中1程度）：3,000円×47名＝141,000円
- ・上級（中2～中3程度）：3,000円×52名＝156,000円

※毎年小4・小6・中2にて受検を想定。

JKジュニア防災検定
子どもの未来を考えた検定です。

主催：一般財団法人防災教育推進協会
後援：内閣府 文部科学省 国土交通省 消防庁 気象庁
全国連合小学校長協会 全国中学校長協会 日本私立小学校長協会
日本私立中学高等学校連合会 日本PTA全国協議会



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
39万円	39万円	0円

ふるさと応援学生寮(男子・女子)備品等整備事業

●町営学生寮に設置する備品等を購入します。

【事業の目的】

ふるさと納税の用途意向に沿った「教育施策」に合致する事業であり、今年度中に整備予定の町営学生寮に、学習机や生活家電、エアコン等の備品を購入し、寮で生活する学生が快適に生活し集中して学ぶことができる環境を整備することで、高森高校への入学希望者数の増加効果を創出する。

【備品】

(男子寮)

階	場所	種類	個数
1階	居室	デスク	12
		イス	12
		ベッド	12
		マットレス	12
		冷蔵庫	12
	ベランダ	物干し竿2m伸縮	12
	食堂	65型TV+スタンド	2
		電子レンジ	5
		6人テーブル	4
		4人テーブル	4
		テーブルイス	40
		カウンターイス	7
		談話テーブル	1
	洗濯室	全自動洗濯機	9
	シャワー室	イス	3
	舎監室	ベッド	1
		マットレス	1
		テレビ	1
		冷蔵庫	1
	事務所	デスク	1
イス		1	

階	場所	種類	個数
2階	舎室	デスク	30
		イス	30
		ベッド	10
		2段ベッド	10
		マットレス	30
	冷蔵庫	10	
	ベランダ	物干し竿4m伸縮	10
	臨時居室	イス	2
		ベッド	2
		マットレス	2
洗濯室	全自動洗濯機	5	
物干場	物干台(ステルス)	3組	
		物干し竿4m伸縮	12

階	場所	種類	台数
1階	食堂兼談話室	天井据付型	1
	調理室用	天井据付型	1
	居室用	ルームエアコン	12
	舎監室	ルームエアコン	1
	2階	居室用	ルームエアコン

(女子寮)

階	場所	種類	個数	
3棟分 (6人/棟)	居室	デスク	18	
		イス	18	
		ベッド	18	
		マットレス	18	
		冷蔵庫	18	
		照明器具	30	
		洗濯室	全自動洗濯機	3
		衣類乾燥機	3	
	共有スペース		テレビ	3
			電子レンジ	3
			6人テーブル	3
			テーブルイス	18

階	場所	種類	台数
3棟分 (6人/棟)	居室用	ルームエアコン	18
	リビング用	ルームエアコン	3



事業費

4,173万円

ふるさと応援寄付金

4,173万円

町負担

0円

予算書P24